

廃校活用推進イベント 事例発表 ～学びの多様化学校としての活用～



令和6年10月2日（水）
白石市教育委員会
教育長 半沢 芳典

白石市について①

宮城県南部、蔵王連峰のふもとに位置

白石市全景



人口: 30,792人(令和6年7月末)
面積: 286.5 km²

白石市について②

本市の目指す将来像

「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまち しろいし」

白石市は、白石城の城下町であった街中には掘割と水路に加え、商家の蔵が点在し、当時の趣を残している。

古くより人々の体を癒してきた温泉地や蔵王山麓が織りなす自然の美しさなど、さまざまな見どころがギュッと詰まった街。



数々の歴史



癒しの温泉地



伝統の技



地元で愛される食

「選ばれるまち」「持続可能なまち」

市内の小中学校について



【学校数】

小学校：10校、病院分校1校

(分校4校は休校中)

中学校：5校、病院分校1校

うち小中一貫校2校

・小原小中学校 (小規模特認校)

・白石きぼう学園 (学びの多様化学校)

【児童生徒数 (R6. 5. 1現在)】

小学校：1,237人

中学校：717人

(参考) 近年廃校になった学校

・旧斎川小学校 (H30. 3月末)

→校舎:社会福祉法人に無償貸与

体育館・校庭:社会体育施設に転用

・旧白川中学校 (H31. 3月末)

→体育館・校庭:社会体育施設に転用

廃校発生から活用に至るまでの経緯

平成31年3月 旧南中学校閉校（白石中学校と統合）

- ・閉校後は、体育館と校庭は社会体育施設に転用、地域の方中心に活用。
- ・地域の方からは「人々が集える場または学校として活用してほしい」と声あり。

令和元年5月 庁内に跡地利用検討会議を設置・検討

令和3年3月 白石市公共施設個別施設計画（長寿命化・再配置計画）改訂

令和3年12月 市長、教育長より、市立の学びの多様化学校設置構想の提案

令和4年3月 学びの多様化学校の校舎として、旧南中学校の活用を決定

令和5年1月 白石きぼう学園を学びの多様化学校（不登校特例校）として
文部科学大臣が指定

令和5年4月 白石きぼう学園 開校

廃校活用に当たって取り組んだこと

✓ 県立の特別支援学校としての活用の検討

-市内中学校に県立の特別支援学校分校が併設されている状態を解消するため、県に特別支援学校分校を廃校施設に移設することについて検討いただくよう打診。

※財産処分上、廃校施設を特別支援学校に転用(もしくは無償貸与・譲渡)する場合、補助金の返納が免除。

✓ 庁内において、跡地利用検討会議を設置し、検討

-副市長を座長とし、教育委員会や関係課を委員とする会議体において、旧南中学校を含む廃校の跡地利用について検討。

→旧南中学校については、文科省HP「みんなの廃校プロジェクト」に掲載し、全国から活用いただける方を募集することに。

✓ 文科省HP「みんなの廃校プロジェクト」への掲載

-同時期に廃校となった旧白川中学校もあわせて掲載し、活用を模索。

-活用を希望する団体等から、複数件の問合せあり(現地視察にも対応)。

✓ 白石市公共施設個別施設計画（長寿命化・再配置計画）への位置付け

-利活用を決める時期を明確化。令和11年度までに利活用を決めることに。

苦勞したことや工夫した点、留意した点など

✓地域住民の方への説明・理解

- ・一度廃校になった学校が、新たな学校として開校するのは地域としては歓迎。
- ・学びの多様化学校は市内に住む児童生徒が通ってくる。旧南中学校区に住む児童生徒だけが通ってくるわけではない学校に対し、地域としてどのように関わればよいか。

✓市長・議会をはじめとする関係機関との連携

- ・関係機関が一丸となり開校に向けて取り組むことで、短期間での開校が実現。

廃校活用のメリット・効果

- ✓既存の校舎を活用するため、学びの多様化学校を早期に開校することができた。
- ✓新しく校舎を建てるより、廃校を活用したほうが経費は安価で済んだ。
- ✓廃校活用をメインで検討する課と、学びの多様化の新設に係る業務を所管する課が同じ課であったため、転用手続がスムーズに進んだ。

学びの多様化学校「白石きぼう学園」の設置

令和5年4月:学びの多様化学校開校

白石市立白石南小学校・白石南中学校(通称:白石きぼう学園、**小中一貫校**)

全国的に不登校の児童生徒は**増加傾向** 本市も**同様の傾向**

不登校児童生徒に対する支援

これまで

- ✓ 白石市教育支援センター「子どもの心のケアハウス」
- ✓ 仙南けやき教室
- ✓ 「学び支援教室」などの整備・充実
- ✓ 各学校での取組(別室支援等)

これまで通ってきた学校・学校のシステムには馴染めず、
新たな学びの環境を望む児童生徒(**自ら行かない!**)

- 不登校児童生徒への**より多様な支援**の在り方
- 一人一人を大切にし、**一人でも多くの児童生徒に適した柔軟な対応**

学びの場の選択肢の一つ

学びの多様化学校設置までの流れ

令和4年3月



令和5年1月12日

【申請について】

特別の教育課程を編成することを希望する学校を設置する地方自治体の教育委員会、国立大学法人、学校法人が文部科学大臣に申請書を提出



教育委員会内での検討 (学校コンセプト)

- ・ 学校型、分教室型等の検討
- ・ 場所・敷地の検討
- ・ 開校予定年度（スケジュール）
- ・ 特別の教育課程の編成・申請

学校教育法施行規則第56条、中学校第76条（準用規定）

対外発信・対応（R4.8月～）

プレスリリース及び保護者や児童生徒への広報活動の開始

- ・ 校長会への説明
- ・ プレオープンスクール
- ・ 保護者説明会
- ・ 地域への説明会
- ・ 広報誌によるアナウンス
- ・ 市内全教職員の研修
- ・ 募集開始（R4.12月～）
- ・ 校舎内外の整備

議会への説明

- R4.12月・R5.2月議会
- ・ 市の学校設置条例の改正
 - ・ 設置・開校に向けた予算
 - ・ 教育基金の設立 等

【大臣指定について】

文部科学大臣は、申請内容を審査し、学校教育法等の観点から支障がないと認められるときは当該学校を指定



人事配置

R5_1月～2月にかけて
県教委と教員定数に関する調整

設置の届出

文科省の指定を受け、
県に設置の届出

コンセプト

「学校らしくない学校」

学校らしくない学校！とは…

「学校はこうあるべき」からの発想転換

学び直しの
時間設定

授業中
クールダウン
可

学校行事
児童生徒
の主体性
から

始業
9:20~

制服
指定なし

定期
テストなし

子供が足を向けたくなる学校

「行けそう！」「楽しそう！」

「白石きぼう学園」の他校とは違う学び

「自分のペース」を最大限尊重

- 登校時刻: 9時20分(カウンセリング等)
- 下校時刻: (小)2時50分, (中)2時50分
- 午前: 3時間授業, 午後: 2時間授業
- ◎授業中のクールダウンもOK(支援員等の配置)
(別室や図書ブースなどでの休息・気分転換を可能)

「個別な学び」で基礎学力の保障

- 「白石タイム」の実施
 - *白石きぼう学園が**新設した教科**の時間
 - *週4時間設定(小学校2年生以上)
 - 小2は週3時間
 - *一人一人の状況に合わせた**学び直しの時間**
- 「未学習」や「苦手内容」に対応(人的支援の充実)

学校内外での 豊かな体験活動の機会を確保

- 児童生徒の興味・関心に基づく探究活動
(総合的な学習の時間)
 - *「夢スタジオ」を**週3時間**設定
 - ⇒【時間増】
 - *得意や興味・関心に基づき, 自分のテーマにじっくり取り組み得意を伸ばす
- 人との関わりを重視した活動の導入
 - *「**探究の対話(p4c)**」の導入(指導支援員)
 - *食を主とした地域との交流による活動の実施(月2回の昼食づくり)
- 校外体験学習の導入(年数回程度)
 - *児童生徒自らが計画を立て実施する体験活動の実施
 - *地域や企業, 協力団体等の力を導入した体験活動の実施

「自分のペース」を最大限に尊重 児童生徒の姿

児童生徒の姿・声

- 授業中, 苦しくなったら自己申告 (大人と一緒にクールダウン:励まし!)
- クールダウン後…… (すっきりしました, また頑張ってきます)
- 登校方法・時間帯等の選択(例:午前中は頑張ります! 午後から行きます! を認める)
- 遅刻しても来る児童生徒 (寝坊しました、これから行ってもいいですか? もちろんOK!)

◎出席数は、7割～8割を継続

学校に行くのが…授業が… 楽!



そうかあ。

ふーん。なるほどね。

「白石タイム」で基礎的な学力の保障 児童生徒の姿

児童生徒の姿・声

- 「1対1での学び」で理解・学ぶ姿勢の向上 （先生は分かるまで教えてくれます！）
- 学ぶ意欲の高まり （分からないところが分かった！→次はここを克服します!）
- 学び合いのスタイルも習慣に （学年関係なく勉強することも楽しいです！）
- 中学3年生は全員 高校進学を希望 （高校に行くことにしました！ 親子でオープンスクールへ）
- 市学力調査への参加率アップ↑ （国語, 数学, 英語の教科 選択数の増）

自分に合った勉強だから 分かる！楽しい！ + 先生がきちんと教えてくれる



「夢スタジオ」で体験活動の機会 児童生徒の姿

児童生徒の姿・声

- みんなで! (みんなで取り組むことが楽しい、友達と一緒にやってみたい!)
- 安心できる友達, 教員, 大人がいる空間 (分かるように教えてくれるので楽しい!)
- 興味を持てる魅力的な体験 (次はこんなことをしたい!調べたことを実際に体験したい!)
- 体験したことの満足感 (自分もできるようになった、やってよかった! の積み重ね)
- 大人との関わりから学ぶコミュニケーション力 (感謝の思いや言葉+次への活動意欲向上)

みんなと一緒に活動 楽しい! 社会性の向上



保護者の姿

保護者の姿・声

- 学校に居場所ができた
- 学校に行くことに前向きになった
- 少しずつ将来のことを考えられるようになった
- 表情が明るくなった
- 毎日楽しいと帰ってくる
- 学校へ行けなかったことが不思議なほど行けるようになった
- 家庭での会話が増えた
- 受験に前向きになった
- 先生方に安心感, 信頼感がある

信頼と感謝！

今までは、朝になると「行きたくない。」と毎日言っていたが、4月からの新しい学校生活が始まると一転朝がくるとシャキッと起きて学校の準備を始め朝ごはんを食べバスに乗って行くという1日の流れが出来ました。「今日は何をしてみました」「今度何々をします」「楽しいな」「早く学校に行きたい」など前向き過ぎる程に変わっていくのを目撃しています。親として本当に転校してきほう学園に通わせて良かったと思っています。楽しい事を沢山体験させて頂き感謝しています。先生方にはありがとうございますの気持ちです。いっほいで。今後ともよろしくお願いいたします。ありがとうございました



給食試食会



夏休みの希望登校日
その1(流しそうめん)

教職員の姿

これまで

- ・新しい学校づくりへの不安…
- ・見通しが持てない苦慮…
- ・これまでの計画がない焦り…
- ・授業は…児童生徒への対応は…？

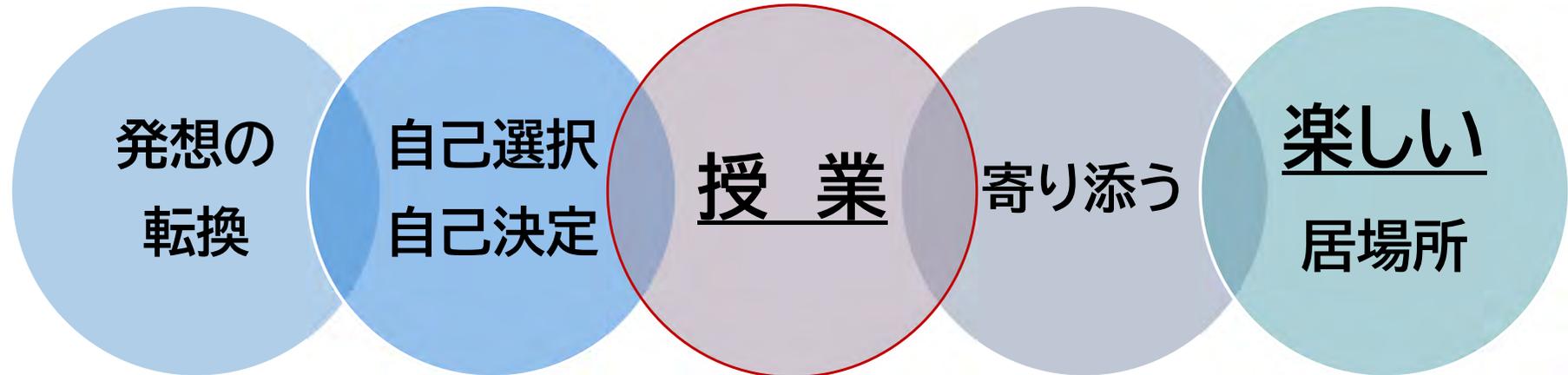
そこで

- 「学びの多様化学校」の理解研修
- 毎日の職員打合せ
→遅い始業開始時刻が好影響
- 児童生徒下校後の振り返り、研修等
→部活、生徒会がないことによる時間的余裕
- OSC、SSW、指導支援員等の配置
- 市教育支援センターとの連携・研修
- 県内「学びの多様化学校」合同研修会

教職員の姿・思い

- 学校の存在の理解 （今この学校は必要ですね！ 自分たちの役割の自覚）
- 子供への寄り添い （話を聴くことや対話は大切ですね「寄り添う」を追求する姿！）
- 打合せでの共通理解 （昨日の様子から今日の対応は…！ 意見を出し合う、話し合う）
- 子供たちの成長を語る （こんな姿が見られました！ 何でも話す！ 認め合う！ 充実感！）
- 教職員も安心して過ごせる職場に （職員室から「安心」と「居場所」を発信！）
- 学校らしくない学校への挑戦 （創り出すのは楽しいですね！）

不安から 楽しみと誇りに！



今後の課題

→は具体策

- ✓ 持続可能な魅力ある学校づくり
→コミュニティ・スクールの導入 [R6の取組](#)
- ✓ 個別最適な学び・個別及び全体のカリキュラムの改善 等
→文部科学省:学びの多様化学校の教育の充実に関する
調査研究(複数申請⇒採択:全国で本市のみ)[R6の取組](#)

白石みらい教育基金、企業版ふるさと納税の紹介

白石みらい教育基金

教育の充実に必要な資金の財源に充てるために設立

■「学校らしくない学校」をコンセプト■

→設備・備品や人員など既存の学校とは異なる
対応が必要

■支援を通じて、不登校に悩む児童生徒に…■

→『みんな応援している、支えている』というメッセージを！

不登校の児童生徒や保護者の不安を少しでも期待に変え、個々に寄り添い、だれ一人取り残さない「きぼう」となる学校づくりの推進



← 玄関掲示(協力いただいた方々)

企業版ふるさと納税

多くの賛同・御寄附

「白石きぼう学園」へのご支援に、「企業版ふるさと納税」をご活用いただいております。

制度活用には留意事項がございますので、詳しくは下記の白石市サイトをご覧ください。

<https://www.city.shiroishi.miyagi.jp/soshiki/40/21664.html>

今後の展望について

✓旧白川中学校（校舎）の活用の検討。

✓令和5年7月に学校教育・保育審議会から受けた答申
「本市における小中学校教育のあり方に関する事項」に
基づく検討。

※答申の内容は白石市HP、もしくは、文科省主催「令和5年度学校魅力化
フォーラム」事例発表を参照ください。

・答申（白石市HP）：

<https://www.city.shiroishi.miyagi.jp/uploaded/attachment/21977.pdf>

・令和5年度学校魅力化フォーラム（文科省HP）：

https://www.mext.go.jp/content/20230802-mxt_syoto02-000031249_20.pdf